

# 第67回景気動向調査 (2019年上半期)

マレーシア日本人商工会議所(JACTIM)  
2019年4月

注1: JACTIM会員企業556社に、2019年1月14日～3月29日にかけて、2019年上半期の景気動向を中心に質問した内容について集計している。287社から回答を得た。

注2: Web上での調査票配布・回収を行っている。

注3: マレーシア日本人商工会議所(JACTIM)では、年に2回(上半期と下半期)にJACTIM会員企業に景気動向調査を実施している。

# 2019年上半期の景気動向【要旨】

- ・景況DIは、前期比で13.7ポイントの下落幅を記録。前期からの下落傾向が続き、2016年下期以来の低水準となるマイナス18.9ポイントを付けた。日系企業は来期の改善を予想している。
- ・業界の需給判断について供給超過とした企業が大幅に増加したことで、需給判断DIは、過去5年間で最大の下げ幅を記録。来期は改善が予想されている。

## (1) 景況感は前期に引き続き大きく下落

13.7ポイントの下落幅を記録。上昇基調から一転して大きく下落した前期の傾向が続いたのみならず、微減とする前回予想値を大きく下回り、2016年下期以来の低水準であるマイナス18.9ポイントを記録。来期には、景況の反転が予想されており、今後の動向が注視される。

## (2) 従業員数の不足は、過去5年間の最低水準

従業員数の不足は、前期の改善基調を引き継ぎ、過去5年間の最低水準まで回復。但し、これは従業員数を過剰とする企業の回答が増えたことによるもの。

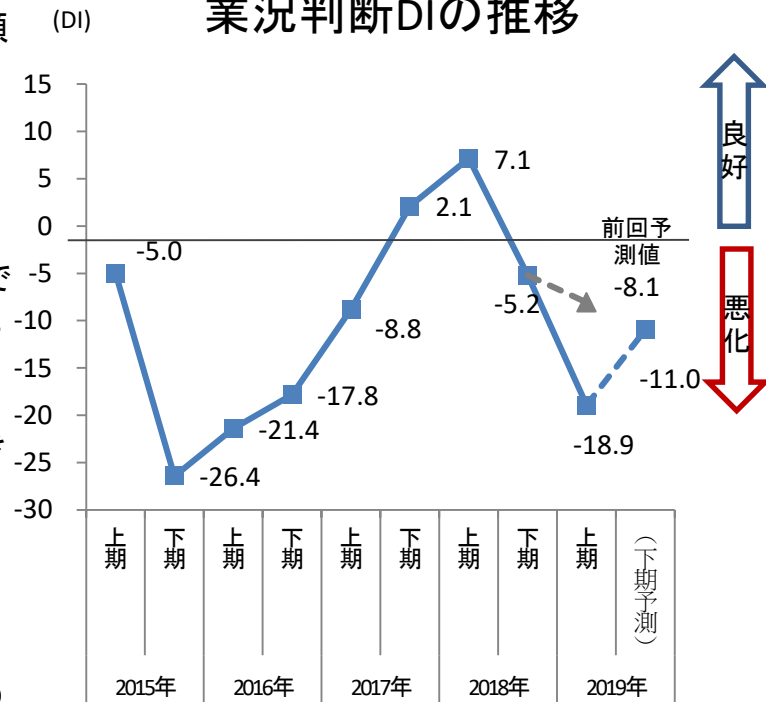
## (3) 業界の需給判断DIが大幅に悪化

製商品在庫水準のバランスは、均衡に近づいた前期から一転し、在庫が大きく増加。また、業界の需給判断について供給超過とした企業が大幅に増加したことで、需給判断DIは、過去5年間で最大の下げ幅を記録。来期は改善が予想されている。

## (4) 米国経済が業績に与える影響が大幅増

業績に影響を与える因子のなかで、これまで増加傾向にあった米国経済の影響を受けるとする回答が、今期は54%へと大幅に増加。一方で、米中貿易競争が業績に影響を与えるとする回答は、微増の28%に留まった。

### 業況判断DIの推移



資料: JACTIM「景気動向調査」

注: 業況判断DI = (「よい」とした企業数 - 「悪い」とした企業数) / (回答企業数)